

習いますので、バラなどの洋花も使います。「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」という表現があります。これは、和服を着た美しい女性を表すだけでなく、芍薬や牡丹、百合をどの位置から見ると一番綺麗に見えるかということも表しています。

私達華道部はより多くの方に池坊のいけばなを知ってもらうために、昨年の外大祭から礼式生けというのを始めました。礼式生けは、お客様の前でお花を生けておもてなしをするというものです。

「アメリカ人とオーストラリア人が『着物』 というものをどう捉えているか」



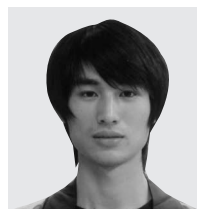
ジャック・フリーマンさん
(留学生別科、出身地・アメリカ)



ロク・ハン・レイチェル・リーさん
(留学生別科、出身地・オーストラリア)

私達が着物を初めて見たとき、とても綺麗で素敵だなと思いました。私達、それぞれの国の友達に着物をどのように捉えているか聞いてまとめてみた結果、大半の人が着物を非常に魅力的で美しい日本の伝統であると考えています。この日本の伝統である着物がこれから先も日本の優れた技術でずっと受け継がれていくと思います。

「男性の目から見た着物」



ハン・ショウショウさん
(留学生別科、出身地・中国)

私が着物姿の女性を見ると、女性が綺麗に見えるなあと感動しました。なぜなら、後ろ姿の女性のうなじがとても艶やかだからです。フランス人の友達に着物姿の女性を見たときの感想を聞いて見ましたが、私と同じことを言っていました。さらに、韓国、アメリカ乃至日本の友達に尋ねたら着物を着ることによって女性は細く見えて、とても魅力的であるという結論をだしました。

「日本の着物と中国の民族衣装」



ライ・ブンシさん
(留学生別科、出身地・中国)

日本の着物は、中国の高校でのオープンキャンパスで初めて着ました。その感動は、今でも忘れられません。着物は、本来は単に「衣服」ですが、明治以降洋服と区別するために「和服」という意味で使われるようになりました。ここで中国のチャイナドレスと比較してみます。チャイナドレスは、お目出たい席にしか着ていけません、着物は様々な場面で着ることができます。また柄もチャイナドレスは、鳳凰や龍や孔雀などが多いですが、着物は、花や木など自然にあるものが多いです。